

25R181

東海大学医学部付属病院にて
2023年1月1日から2025年12月31日の期間に
消化器外科あるいは消化器内科で膵臓病の診断のために
膵臓の生検および細胞診検査を受けられた患者さんおよびそのご家族の方へ
生命科学・医学系研究に対するご参加のお願い

【研究の実施について】

東海大学医学部付属病院では、上記のご病気で入院・通院・手術・検査された患者さんの試料（病理診断に使用した病理スライドならびに診断後残試料）・情報（診療記録）を使い、病気の理解や治療法の向上を目的とした研究を行っています。

この研究は、東海大学医学部臨床研究審査委員会の承認を受け、法律や倫理指針に従って実施されます。患者さんの個人情報、氏名等の情報を削除し、個人が特定できないよう加工して使用いたします。なお、研究成果は、学会や論文で発表されることがあります。

【参加を希望されない場合】

自身やご家族の試料・情報を研究に使用されたくない場合は、研究成果が公表される前までに、下記の連絡先までご連絡ください。ご連絡があれば、研究対象から除外いたします。但し、研究成果の公表手続きがなされた後には除外することができませんので、ご了承ください。

なお、本研究へのご参加の有無が診療や治療に影響することはありませんのでご安心ください。

【研究の概要】

対象者：西暦2023年1月1日～2025年12月31日の間に、当院の消化器外科あるいは消化器内科で膵臓病の診断のために膵生検および細胞診検査を受けられた方（検査結果の良性・悪性は問いません）

研究課題名：膵生検・細胞診検体の分子病理学的解析による膵癌の診断・治療標的の探索

倫理審査番号：25R181

研究期間：【許可日】～2030年12月31日

26 326

【本研究の目的・意義】

下記の試料・診療情報等を利用し、膵臓癌の新たなマーカーや治療ターゲットを見出すことを目的とした研究を実施するため、当院において膵臓腫瘍（疑いも含む）の診断のため膵穿刺生検・細胞診および膵液細胞診の病理検査治療を受けられた方で、研究者が病理検査結果や再発・生存情報をもとに、がんに関連する遺伝子の発現や糖タンパク質に関する分析を行い、診断や治療に有用な分子を絞り込んで意義を検証します。研究の成果については、科学的に慎重に検証した上で、将来の医学・医療の発展のために学会・論文で発表するとともに、新しい検査法や治療法の開発に活用します。

【使用する試料・情報の例】

試料：診断後に保管されている病理組織スライド、細胞診スライド、ホルマリン固定後組織および細胞診残試料

情報：診療記録（年齢、性別、血液型、原疾患、生活歴、家族歴、既往歴、治療歴、服薬歴、身体所見、血液検査結果、画像検査所見、内視鏡所見、手術所見、病理検査所見、生存・再発情報）

【個人情報の取り扱い】

本研究で使用するデータおよび病理試料を研究室で得た時点で一覧表（対応表）のある匿名化を行います。試料・情報として、すでに保存されている検体や情報等を使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。またあなたの情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。一覧表（対応表）は厳重に管理し、個人情報管理責任者の管理のもと施錠可能な保管庫にて厳重に保管します。本研究で得られた試料・情報は研究終了後5年または研究結果発表後3年のいずれか遅い時期に廃棄します。

【情報の開示について】

ご希望があれば、研究計画の資料やご自身の情報について、可能な範囲で開示いたします。ご家族と一緒に説明を受けることも可能です。ご不明な点があれば、遠慮なくお問い合わせください。

【研究資金・利益相反^{りえきそうはん}について】

この研究は、日本学術振興会の科学研究費補助金（科研費）および学内の研究費を活用して行われています。研究代表者および分担者は、資金提供元である日本学術振興会と経済的な利害関係を持っていません。したがって、現時点で開示すべき利益相反はありません。

【研究組織】

代表研究機関名：東海大学医学部

研究代表者所属・氏名：基盤診療学系病理診断学・眞杉 洋平

共同研究機関リスト

共同研究機関名：産業技術総合研究所

研究責任者所属・職：細胞分子工学研究部門分子細胞マルチオミクス研究グループ・研究グループ長

氏名：久野 敦（連絡先）050-3521-0278

その他、本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

【お問い合わせ先】

東海大学医学部基盤診療学系病理診断学

電話：0463-93-1121（代表）内線：3171

研究責任者（代表者）：眞杉 洋平

【更新履歴】

2026年1月30日 第1版